

今号の主な記事

- ◇市役所本庁舎1階に「多言語案内表示盤」設置……………3面
- ◇市職員を募集……………2面
- ◇年末年始のごみ収集……………5面
- ◇西宮夢舞台の採用企画決定……………11面

運動場の整備を終えた津門小学校の初の体育会。澄みきった秋空のもと、子どもたちの笑顔と歓声があふれていました



老朽校舎の建て替え

未来を担う子どもたち

教育環境の向上と耐震化、環境に配慮

市は古くなった校舎や設備、学習環境を改善するため、昭和初期に建築された老朽化した校舎を建て替えていきます。平成17年度から始まった津門小学校の校舎改築は、20年8月に運動場の整備をし、全面改築を終えることができました。また甲子園浜・浜脇・高木・用海・夙川小学校でも校舎などを増築していきます。

長い間、地域のシンボルとして親しまれ、たくさんのお宮っ子が巣立った学び舎は新しく生まれ変わります。問合せは教育委員会施設計画グループ(0798・35・3893)へ。

津門小学校の特色

津門小学校は昭和6年に今津第二尋常小学校として、その歴史をスタートしました。翌々年には津門尋常小学校と名前を変え、今日に至るまで70年以上津門の名前を冠し続けています。

津門小学校の特色は「地域と学校の密接な連携」が挙げられます。学校の教育活動に対して地域が協力的で、学校・保護者と一体になり、みんなで子どもの健全育成に携わっています。

充実した教育環境と耐震性の向上

校舎は老朽化対策と耐震性の確保のため、全面改築しました。設計などは、地域団体や学校関係者で構成する改築推進委員会から意見などを伺い、平成17

西宮市長からのメッセージ

安全で安心できる 夢のある学校づくり

学校は家庭と並んで子どもたちが学び、成長し、友人をつくる最も大切な場所です。教育環境の整備は何よりも大切な未来への投資だと思います。

学校を訪れますと子どもたち一人ひとりの学ぶ意欲がその真剣なまなざしから強く感じられます。また、友だちと遊ぶ笑顔あふれる元気な姿を目にします。

私は、子どもたちが「西宮で育ったことを誇りに思える」「まちづくりを進めたい」と考えています。豊かな自然、地域に見守られた安全で安心できるまち、すばらしい先生たち、そして整った教育環境を子どもた

ちに与えたいと願っています。

子どもたちの学び舎であり、地域の交流の拠点として緊急時の避難場所にもなる学校の改築は大切な事業です。子どもたちが、すばらしい環境のもとで学び、成長し、充実した楽しい学校生活がおくれるように、現在、甲子園浜・浜脇・高木・用海小学校で校舎などの増改築事業を進め、夙川小学校も計画中です。

多くの子どもたちの成長を見守ってききた各地域の学校を、今後も西宮の大切な財産として整備し、安全で安心できる夢のある学校づくりを進めていきます。

学校施設の耐震化計画

学校施設の耐震化は既に対象施設の耐震診断をすべて終え、診断結果などに基づき耐震化計画を策定作業中です。国の基準による耐震性の低い施設は平成22年度末までに、それ以外の施設は27年度末までに補強工事をしていく予定です。

また工事中、子どもたちや地域の皆さんにご不便をおかけしますが、安全の確保には十分配慮し工事を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

環境の配慮と環境学習

市内には雨水利用施設や屋上

緑化などエコや環境について考えるための設備を整えた学校もあります。

津門小学校増改築工事は東校舎の屋上に本市の学校施設としては初めて太陽光発電システムを設置しました。このシステムは、最大3kWを発電するもので、校舎内の照明や空調機器の電源の一部として利用されており、常時、発電量など稼働状況が確認できるモニターを玄関に設置しています。

現在、増改築を進めている甲子園浜(竣工予定21年度)、浜脇・高木(同22年度)・用海(同23年度)・夙川小学校(同24年度)にも、このようなエコや環境に配慮したシステムの整備を計画しています。未来を担う子どもたちが大きくはたかごことを願う、教育環境の向上を今後も図っていきます。